

前中期経営計画の総括

KAI-KAKU 150 1st STAGE 「未来へのとびら」

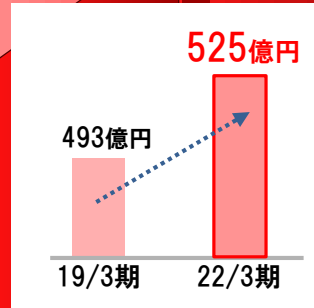
～デジタル&コンサルティングバンクをめざして～

2019年4月1日 >>> 2022年3月31日

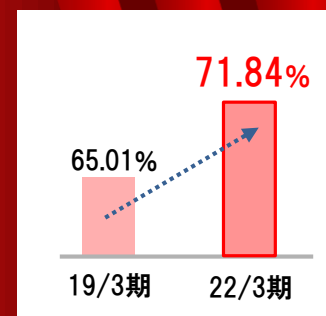
前中期経営計画 KAI-KAKU 150 1st STAGE 「未来へのとびら」

収益構造改革

資金利益 +32 億円
※19/3期比較



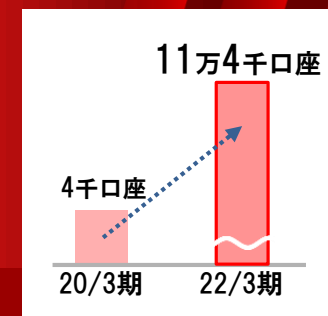
預貸率 +6.83 ポイント
※19/3期比較



3つの改革

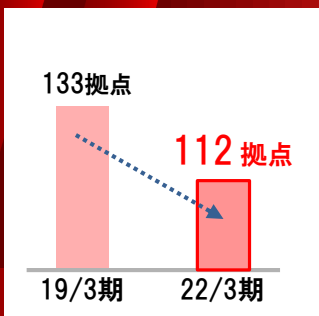
I T・デジタル改革

スマホバンキング口座数 +11万口座
※20/3期比較

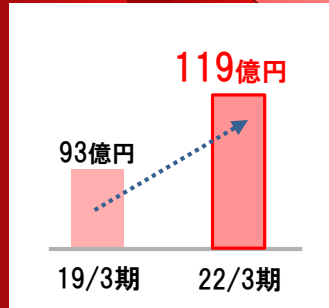


組織・人材改革

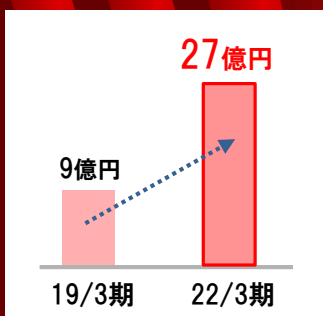
拠点数 ▲21 拠点
※19/3期比較



役員取引等利益 +26 億円
※19/3期比較



法人ソリューション手数料 +17 億円
※19/3期比較



グループ一丸となって各施策を進めた結果、全項目を達成

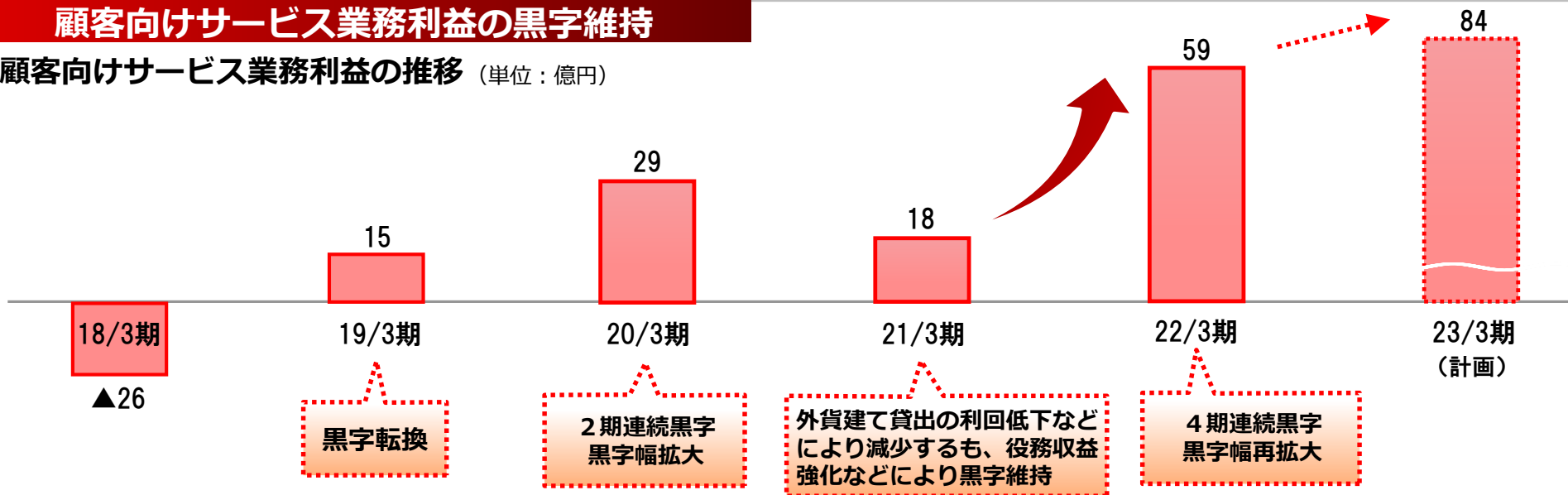
主な経営指標の成果

	項目	前中期経営計画 期間		達成	3年間 増減比較など
		19/3期 実績	22/3期 実績		
収益性指標	当期純利益	107億円	129億円	○	+22億円
資本効率指標	ROE (株主資本ベース)	4.32%	4.68%	○	+0.36%
効率性指標	OHR (コア業務粗利益ベース)	74.43%	62.24%	○	12.19ポイント改善
健全性指標	自己資本比率	9.74%	9.84%	○	0.1ポイント向上
成長性指標	総預金平残 (譲渡性預金含む)	4兆9,929億円	5兆7,066億円	○	+7,137億円
	総貸出金平残	3兆2,462億円	4兆999億円	○	+8,537億円
	預貸率 (平残ベース)	65.01%	71.84%	○	6.83ポイント向上
収益指標	顧客向けサービス業務利益	15億円	59億円	○	+44億円
	法人ソリューション手数料	941百万円	2,706百万円	○	+1,765百万円
人材開発指標	プロフェッショナル資格保有者	161人	336人	○	+175人

顧客向けサービス業務利益は、役務収益強化などにより4期連続黒字

顧客向けサービス業務利益の黒字維持

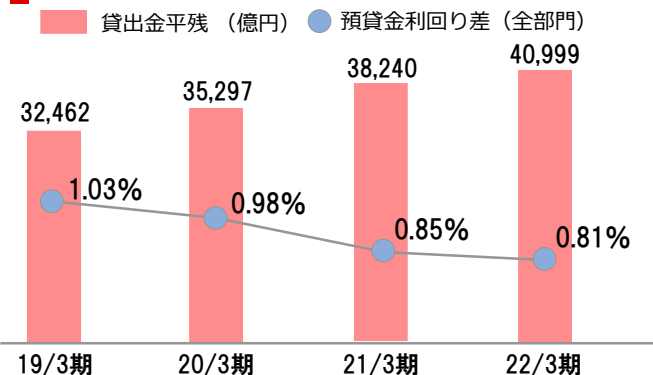
顧客向けサービス業務利益の推移 (単位：億円)



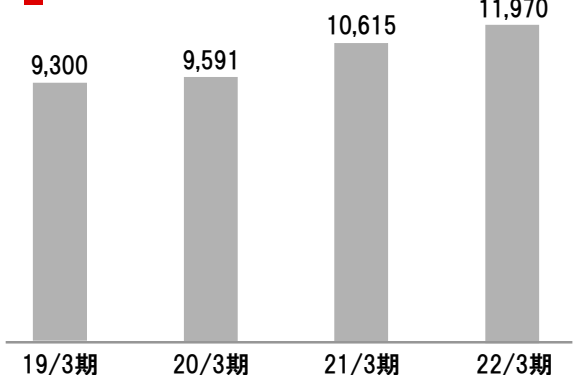
顧客向けサービス業務利益

貸出金平残 × (貸出金利回り - 預金等利回り) + 役務取引等利益 - 営業経費 (臨時損益の退職給付費用等含む)

貸出金平残と預貸金利回り差の推移



役務取引等利益の推移



営業経費の推移

